

## 大船渡発

### 定置網漁船の水揚げ

大船渡市魚市場では10隻の船が水揚げを行い、久しぶりに市場は活気づきました。午前8時ごろ、入港した第七大丸はイワシやワラサなど7トンを積んで入港しました。現在、岩手県は太平洋クロマグロの資源回復のため県内の定置網17か所を交代で休漁させていて、この日大船渡市魚市場では2つの定置網が休漁となっていました。この措置は来年6月まで続き、水揚げの減少などの影響が懸念されています。(6/23 ニュース)



## 盛岡発

### 三鉄・望月社長退任

三陸鉄道の株主総会と取締役会が開かれ、震災発生時の対応や復旧に尽力した望月正彦社長の退任が承認されました。終了後の記者会見で望月さんは「震災以降の5年間というのはあつというまという感じがしています。そういった中で、地域のみなさんが本当に鉄道を愛してくれているというのを身に染みて感じました」と述べました。後任は県の前復興局長の中村一郎さんで「三鉄が引き続き、地域のみなさま。全国のみなさまに笑顔と希望を運ぶ鉄道ということが続けていけるように、社員一丸となって頑張っていきたい」と決意を語りました。三陸鉄道の昨年度の決算は2年連続の黒字です。(6/24 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 市に寄付金贈呈

大手飲料メーカーのサッポロホールディングスが株主優待制度を活用した寄付を大船渡市に行いま



した。市役所での贈呈式では、上條努社長が戸田公明市長に株主からの35万円に会社として同額を加えた70万円を寄付し

ました。市では寄付金を市の花「ツバキ」について学んでもらおうと小中学校の植樹活動などに役立てることにしています。(6/28 ニュース)

## 釜石発

### 「恋人の聖地」で銘板

プロポーズにふさわしいロマンチックなスポットとして「恋人の聖地」に選ばれた釜石大観音の都築利昭住職に釜石市役所で野田武則市長から認定の銘板が贈られました。「恋人の聖地」は結婚の支援、観光地の活性化を目的にNPOが全国で選定しています。釜石大観音では当面、銘板を1階ロビーの正面に展示し、今後は海が見渡せるバルコニーにモニュメントを建てて納めることにしています。(6/29 ニュース)



## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの平田のぶえさんが、7月3日(日)に行われる「高田スマイルフェス2016」について伝えてくれました。これは復興支援活動で陸前高田市と繋がりを持ち友好協定を結んでいる川崎フロンターレが、ベガルタ仙台との試合を陸前高田市上長部グラウンドで行うものです。あわせてアトラクションや物産販売、ナオト・インティライミさんも登場する特設ステージなどの他、サッカー教室も実施されます。(6/29)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
 詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
 IBC復興支援室事務局 019-623-3122